

今年の7月から院長に就任いたしました谷亀(やがめ)と申します。

ラディッシュ通信

13年夏号



災害対策委員より

今年も秋に避難訓練を実施する予定です。ぜひご参加ください。



透析患者さんの血液検査

透析と透析の間がいちばん長い週初めの透析開始時に血液検査をすることで、尿毒症物質やカリウム、リンなどが「いちばん体内に蓄積している数値の高い時」の状態を確認できます。この時の検査結果が良い状態であれば、その他の日も安定していると考えられます。また血液検査の結果は、患者さん個々に適した透析条件(時間・血液流量)を設定する一つの指標としています。

現在は外来診療が主体ですが、徐々に透析診療にも携わっていく予定になっております。

隣の伊勢原で生まれ育ち、昭和58年に東海大学医学部を卒業して以来、東海大学病院の腎・内分泌・代謝内科に勤務し、糖尿病や腎臓病の診療・研究、そして若手医師・医学生への教育を担当してきました。当院が現地へ移転する前には週に1回ですが非常勤として透析患者さんの診療や外来診療に来ていた時期もありますので、浅からぬ縁を感じています。

今までの豊富な経験を生かしてこれからも透析診療や外来診療に関わっていきますので、今後ともどうぞよろしくお願いいたします。



BUN(尿素窒素) たんぱく質の代謝産物	BUNは、透析前後の検査値によって、血液がどのくらいきれいになっているのかが見ることができます。この指標がKT/Vです。KT/Vが1だと透析1回に対して体液全体が1回分きれいになったという意味になります。
β2MG (ベータ2ミクログロブリン) 血液中の蛋白質のひとつ	蛋白質のひとつで、他の物質と比べると除去されにくいので、長期透析をしていると徐々に蓄積してきます。その値は血液検査で知ることができます。蓄積したものが骨や関節に沈着し、透析アミロイドーシスという合併症の原因となり、関節痛やしびれなどの症状が出てきます。
ALB(アルブミン) 栄養状態の指標	透析患者さんは、低栄養になりやすいことが言われています。ALBとあわせて体重の変化やその他の検査結果で栄養状態をみます。体に必要なエネルギーと適切なたんぱく質を摂取することが大切です。
IP(リン)	血液中に過剰に蓄積されることにより、合併症の原因となります。食事での摂取量が適切かどうか知ることができます。透析後には身体に適した数値にまで調整されます。
K(カリウム)	
Ht(ヘマトクリット)	貧血の程度を示しています。造血剤の注射など治療の指標となります。消化管出血などにより急激に値が下がることがあります。ご自身の便の色を毎回チェックし、黒っぽいなど症状がある時は出血のサインかもしれません。
Hb(ヘモグロビン)	主に感染の有無を見ることができます。風邪や傷など炎症を起こしていると値が上昇します。

症状がある時は
すぐにスタッフに
お知らせください!



血液検査は、透析がきちんとできているか? 栄養状態は大丈夫か? 合併症の心配はないか? などを見る指標になります。また、病態の診断、治療方針の決定、治療効果の判断などに役立てることができます。別紙「血液検査の見方」の資料を作りましたので、参考にしてください。

お願い

★現在、月・水・金・火・木・土

どちらも午前クールはほぼ満床にて、午前クールへの変更は困難な状況となっております。受診など治療による変更を優先させていただきますので、ご理解、ご協力をお願い致します。

★午後クールの患者さんはきちんと透析ができるように時間に余裕をもって入室するよう心がけてください。

検査日程

胸部レントゲン 心電図

9月	9・10日(午後の方)	6・7日(午前の方)	16・17日
10月	7・8日(午後の方)	4・5日(午前の方)	14・15日
11月	4・5日(午後の方)	1・2日(午前の方)	11・12日
12月	2・3日(午後の方)	6・7日(午前の方)	9・10日

* 検査日程は予定です。毎月の予定表で再度ご確認ください。